

第 72 回銀杏祭感染症対策マニュアル

【ステージに関する感染症対策】

- (1) 旧体育館ステージ
 - ・ステージ上の人数制限（30 人まで）
 - ・ステージと観客の距離を 2m 以上空ける
 - ・観客席には椅子を等間隔で設置する
 - ・入場制限（最大 200 人～300 人を想定）
 - ・幕間時に空いた客席を消毒
 - ・幕間時にドアをすべて開けて換気(1 時間おきに 10 分ずつの予定)
 - ・缶瓶などフタのできない容器の持ち込み禁止
 - ・入場時に QR コード（実行委員が用意）の読み取り(学外者の名簿記入を QR コードにできないか要検討)
- (2) 8 号館サブステージ（屋外）
 - ・ステージ上の人数制限（15 人まで）
 - ・ステージと観客の距離を 2m 以上空ける
 - ・観客席前方に椅子を等間隔で設置する
 - ・立ち見客の密集対策として見回り、声掛けを行う
 - ・幕間時に空いた客席の消毒
- (3) 小ステージ（屋外）
 - ・ステージ上の人数制限（10 人まで）
 - ・ステージと観客の距離を 2m 以上空ける
 - ・観客席には椅子を等間隔で設置する
 - ・立ち見客の密集対策として見回り、声掛けを行う
 - ・幕間時に空いた客席を消毒
- (4) 大音楽練習場ステージ
 - ・ステージ上・ステージ周辺の人制限（20 人まで）
 - ・ステージと観客の距離を 2m 以上空ける
 - ・観客席には椅子を等間隔で設置する
 - ・入場制限(最大 30～40 人を想定)
 - ・カン、瓶類の持ち込み禁止
 - ・幕間時に空いた客席を消毒
 - ・幕間時にドアをすべて開けて換気(1 時間おきに 10 分ずつの予定)
 - ・入場時に QR コード（実行委員が用意）の読み取り(学外者の名簿記入を QR コードにできないか要検討)

【教室企画】

- ・人数の制限（出展者・入場者合計で 25 名以内）
- ・入口にアルコール消毒を設置し、徹底する
- ・原則ドアを解放
- ・教室ライブ等で音量に配慮が必要な場合、転換時にドアを開けて換気(30 分おきに 5 分を目安とする)
- ・飲食物の販売は原則禁止
 - ※例外として、その場で飲食しないことを徹底する場合、景品として個包装の飲食物（既製品に限る）の配布は可能といたします。

- ・展示物等は人が密集しないように十分な間隔（2m）をあけて設置
- ・椅子を設置する場合は1m以上間隔をあける
- ・入口と出口を区別して決めておき、人の流れが一方通行になるようにする
- ・教室企画に出展する学生の部活くんの徹底

【入場退場に関して】

(1) 正門

- ・入場専用とする（入場者、退場者の流れを一方通行にするため）
- ・入場者への検温の実施
- ・入場者全員の大阪コロナ追跡システム登録・学生証提示
- ・学外者は事前に google form にて参加フォーム（氏名・電話番号・住所）を提出し、入り口にてメールを確認してから入場
- ・再入場の際も学生証、確認メールを提示してから入場

(2) 北門

- ・出口専用

(3) 南門

- ・原則封鎖（入退場には使用しない）

【模擬店】

- ・模擬店ブース内人数制限は6人
- ・既製品・調理品問わず出店可能
（※調理品の場合、保健所指導のもと可能な範囲内のみとなります）
- ・調理品の場合、調理後すみやかに販売する
- ・マスクの正しい着用（鼻マスクや顎マスクは不可）
- ・調理者のビニール手袋の着用を徹底
- ・定期的な手指除菌及び調理器具の除菌
- ・シフト制の運営を指導する（会計担当者と調理者を区別したシフトを作成する）
- ・勧誘では発声を控え、手持ち看板等で勧誘する
- ・模擬店と模擬店の間に間隔（1店舗分）をとる
- ・金銭の受け渡しは手指消毒後トレーを介して行い、極力会話しない
- ・待機列は1mの間隔を取る
- ・飲食は指定の飲食スペースで行うよう誘導
- ・飲食スペースにアルコール消毒の設置
- ・模擬店運営者の3日前～当日の抗原検査・PCR検査の義務化（当日結果がわかっていない者は参加不可）

【その他】

- ・アルコール消毒を学内の各所に設置
- ・手洗い場に石鹸を設置し、正しい手洗いマニュアルを掲示